

日本発ドイツ便り：ドイツの鉄道 175 周年

ドイツでは、電車を始め、公共交通機関を使う事が多いです。

長距離旅行であれば、ドイツの誇る新幹線、ICE（イー・ツェー・エー：InterCity Express の略です）やもうちょっと停車駅の多い特急 IC(InterCity)、特急料金不要の RE(Regional Express:レギオナル エクスプレス、高速鉄道)などなど。他にも色々種類があります。

街の中の移動なら、都会なら、S-Bahn（エスバーン）、U-Bahn（ウーバーン：地下鉄）や Strassenbahn（シュトラーセンバーン：路面電車）などなど。

ドイツの公共交通機関のスゴイところは、（飛行機もそうですが）安い!こと。

一回限りの運賃はそう安くないのですが、（例えば、フランクフルトの 2010 年 5 月時点の運賃を例にすると）

チケットの種類	説明	料金
Einzelkarte（アインツェルカルテ）	1 回の乗車に限り有効	€2.00
Tageskarte（ターゲスカルテ）	発行日 1 日中有効	€4.80
Gruppenkarte（グルッペンカルテ）	同行動の 5 人まで 1 日中有効	€7.60
Wochenkarte（ヴォッヘンカルテ）	1 名で一週間有効	€16.60
Monatskarte（モナーツカルテ）	1 名で一か月間有効	€57.40

これでフランクフルトの中央部分の S-Bahn、U-Bahn、Strassenbahn に Bus までなんでも使えます。金曜日や土曜日の深夜には終電が終わったあとの Nachtlinie（ナハトリニエ：深夜バス）にだって使えちゃいます！

いちいち切符を買ったり、料金を確かめたりする必要がないので、とても便利です。

他にも回数券など、色々な種類のチケットがあります。

ドイツの駅には改札はないのですが、フランクフルトのように切符を買うだけで良い街と、切符を買って、乗車時間を刻印しないとだめな街があります。（これは正直ちょっとややこしいです。方法は違うのに、検札で有効な切符を持ってないのが見つかった場合の罰金はどこも大体€40 です。）



刻印マシンはこんな感じ。この隙間にチケットを入れると、ガシャンと日付や時間が刻印されます。

ちょっと最初の意図から外れてきたので、ここから軌道修正。☺

今年はドイツで鉄道が開通してから175年ということで、様々なイベントが行われているようです。1835年の12月7日に Nürnberg から隣の Fürth まで走ったのがドイツ鉄道の始まり。



これが最初の蒸気機関車 Adler (アドラー) 号です。

今、Nürnberg から Fürth までは S-Bahn などで 15 分くらい。初めての列車では、どのくらい時間がかかったんでしょうね？この Adler 号の保存されている Nürnberg の DB Museum (鉄道博物館) では、この夏から来年の年明けまで様々なお祝いイベントや展示が計画されているようです。

175 周年の目玉商品として、

- ・ドイツ中どこでも 2 等車利用、片道 2 名で €35
 - ・175 時間ドイツ中どこでも 2 等車利用、1 名で €175
 - ・1 ヶ月間ドイツ中どこでも 2 等車利用、1 名で €299
- というお祝いチケットも売りだされているようです。

175 周年とは関係なく、DB では会員向けの運賃割引サービスもやっています。BahnCard というものです。25・50 の存在は知っていましたが、100 なんて、びっくりのカードも存在していました。ドイツ中の鉄道がいつでも無料って、どんな割引やねん？(買って使い倒してみたい気もします。☺)

カードの種類	説明	料金
BahnCard 25	1 年間いつでも運賃 25%引き	€57 (2 等車)
BahnCard 50	1 年間いつでも運賃 50%引き	€230 (2 等車)
Mobility BahnCard 100	1 年間いつでも運賃 100%引き	€3800 (2 等車)

*もしくは最低継続 1 年の条件付きで、月 €350

今年はサッカーの世界カップですね。もしドイツが優勝したら、BahnCardの有効期限を最大3カ月延長！というキャンペーンも行うようです。このカード持っている人は応援に熱が入りそうですね。☺

会員になってなくても、早めのオンライン予約で、うまくいけば半額、もしくはもっと安くチケットを予約することもできますよ。

ドイツ旅行で列車の旅行もしてみたい！という方は是非ご相談ください。

ドイツの列車 175 周年でした。



フランクフルトの中央駅と ICE